

『羅生門』（芥川龍之介）①

一年

ルーム

番 氏名

#### 4 羅生門の状態 Ⅱ

荒れ果て、人の近づかない、不気味な場所。

・大きな円柱に（きりぎりす）が一匹とまっている。

この表現の効果

秋という季節を表す

柱の大きさときりぎりすの小ささを対比

↓ 無人で荒廃していることを強調

『羅生門』（芥川龍之介）②

一年

ルーム

番 氏名

・死人の肉をついばみに来る（からす）

「（からす）をまいたように」

この直喩の効果

夕焼けの赤とごまの黒の対比

羅生門の大きさを強調

↓ 不気味な印象を表す

・所々、崩れかかった、そうしてその崩れ目に長い草の生えた石段の上に、（からす）の糞